

### 第3回芦屋市社会福祉審議会 会議録

- 1 書面開催: 令和3年1月29日(金)～令和3年2月5日(金)
- 2 議題: 第9次芦屋すこやか長寿プラン21(原案)について

番号	委員名	頁	委員からの意見(概要)	市の考え方
1	佐瀬委員	50	・「認知症サポーターを活用」⇒認知症サポーターの活躍の場を用意する、とか認知症サポーターと協働する、とか *認知症サポーターは物ではないので、「活用」は言い換えるとよいと思いました。	P50「〇認知症サポーターとの協働及び活躍の場の創出」に修正。
2	東郷委員	52	大した事ではありませんが、緊急・災害時要援護者台帳は福祉推進員は持っていないと思います。要配慮者名簿をお渡しして平常時の見守りをしています。	委員のおっしゃるとおり福祉推進員は直接、緊急・災害時要援護者台帳を所持しておりませんが緊急・災害時要援護者台帳を所持している民生委員や社会福祉協議会と連携して見守りに活用している趣旨で記載をしております。
3	佐瀬委員	56	・権利擁護:養介護施設従事者等による虐待についても検討が必要です。 *在宅でも訪問介護・看護、ケアマネジャー等の職員による虐待はゼロではありませんので。	P56「要介護施設従事者」を追記。またP71 権利擁護の理解や意識を高める取組の推進の「関連機関等に対する研修」を「養介護施設従事者等や関係機関等に対する研修」に修正
4	納谷委員	57	「課題8 災害時支援体制について」等全般に係る課題 「支援する側への課題」表現となっているが、本来は「支援を受ける側」のあり方についても提言すべきではないか。 (例) 受ける側も日頃から近隣社会に向き合う心構えを育む。	P57委員のおっしゃるとおり当事者自身の取組みは重要であると考えますので、実施に併せて自助の必要性等の周知も行ってまいります。
5	佐瀬委員	58	・介護人材不足:外国人介護士の受け入れについて *受け入れ研修などの企画は必要ありませんか?	P58 介護人材不足への対応に「外国人人材の受け入れの推進」を追記
6	佐瀬委員	68	・看取り、最期まで自宅で療養する取組が書かれていないのは残念。ACPという言葉や「人生会議」など明記しても良いと思います。	P68「医療・介護の連携に関する課題」を「看取りや終末期を含む在宅医療・介護の連携に関する課題」に修正
7	辻原委員	69	軽度認知症の人及び介護者が気軽に出かけられる居場所作りを認知症サポーターが中心になって身近な所で造って欲しいと思います。	1-4認知症ケアの推進(P.69)新規項目として、認知症の人やその家族が、気軽に集える居場所づくりに認知症サポーターとともに取組むことを掲げておりますので今後居場所づくりを進めて参ります。
8	脇委員	71	「自らが希望する自立した日常生活を営むことができるよう」を、「『自分らしい暮らし』を支える成年後見制度の利用が必要な方への利用促進のため…」に修正するほうがよいのでは。	P71「自らが希望する自立した日常生活を営むために、成年後見制度を必要とする人が誰でも利用できるように成年後見制度利用促進事業を継続実施します。」に修正

### 第3回芦屋市社会福祉審議会 会議録

番号	委員名	頁	委員からの意見(概要)	市の考え方
9	佐瀬委員	89	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護人材確保へ向けた取り組みについて</li> <li>・外国人介護士の受入れについて事業者向けの研修の企画などは?</li> <li>・介護職へのハラスメント対策、訪問看護・訪問介護事業者等へのハラスメント対策事業などは権利擁護にもなります。介護職の離職防止にもなります。</li> </ul>	P89 介護人材の確保へ向けた取組の「働きやすい職場環境づくりや離職防止に向けた取組を進めます。」を「外国人介護人材の受け入れの推進やハラスメント対策を含めた働きやすい職場環境づくりと離職防止に向けた取組を進めます。」に修正
10	佐瀬委員	90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6行目と表中の「介護サービス相談員」は介護相談員のことですね。正しい表記にするとか、説明を入れると良いと思います。</li> </ul>	P90 文中及び表中の2か所、「介護サービス相談員」を「介護サービス相談員(介護相談員)」に修正
11	青山委員	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回「書面による開催」しかできなかった事を残念に思います。総合計画審議会は前回よりZOOMにより開催しており、来月もZOOMで決定している。コロナ禍での環境の変化に対応して欲しいです。</li> <li>・今日の第9次は2023年までの3カ年計画だが、第10次策定時には芦屋市の人口が40年後には65,000人に大幅減少になる推計の元、実現可能な計画として組み直して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式等に対応し審議会を開催する方法については、オンラインによる開催を他の審議会等も参考にし検討してまいります。</li> <li>・計画の背景と趣旨にて記載しているように、今後の少子高齢化のような人口構成についての変化のなかで、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性を確保することを配慮し次期計画においても適切な見直しを行ってまいります。</li> </ul>
12	田中委員	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民からのシビアな意見が多い中、総じて適切に対応され具体的にくわしく説明されていて立派だと思えます。</li> </ul>	今後も市民のかたに御理解いただけるように丁寧な説明に努めて参ります。